

令和元年度 相談支援のケースから見えてきた地域課題

ケアマネ連絡会 2020/03/04

番号	課題	現状（取り組み状況）	提案
1901	障害福祉の役割を明確にした関係機関（教育 司法 就労 児童）との連携	・関係機関との連携会議、個別で説明会・学習会が開かれている。	・多領域との情報共有、障害福祉についての説明会、出前講座の実施。 ・事例の中で関わりながら、役割について明確化していく。
1902	障害福祉サービスにつながりにくいケースの相談支援をどのように進めていったらよいか	・既存の障害福祉サービスを紹介するが、相談者のニーズに応じられない ・ひきこもりの方の現状把握ができていない、支援の方向性が見えない	・障害福祉サービスにつながらないケースの要素を分類分析し、支援のガイドラインを作る。 ・多様なニーズに対応できる日中活動支援の場
1906	発達障害の方で就労（障害福祉サービス）につながらない方の支援をどのようにしていけばよいか	・委託相談や保健師のみでの関わりの場合、情報を共有する場がない。	・障害特性に応じた支援スキルの向上 ・支援につながらない障害者の情報の集約と共有。
1903	障害福祉サービスでは受け入れができないケースをどのように支援していけばよいか		
1904	長期入院の方、長期入所の方の地域移行、地域定着をどのように進めていけばよいか		
1905	児童養護施設で受け入れができない障害児の受け皿をどのように考えていくか 家庭で暮らすことができない障害児を抱える家族への支援をどのようにしていくか	【児童相談所】 ・児童養護施設では障害の特性のため支援体制が整えられない。 ・専門養育家庭へ委託をするが障害特性のため支援の継続ができない。 【障害福祉サービス】 ・やむを得ない状況のため、短期入所、放課後等デイサービスを利用している。暮らしの場とらず一時的な支援しか行えない	・本来要養護児童であることを踏まえ、各関係機関（児童相談所、児童養護施設、長野市障害福祉課、障害福祉サービス提供事業所等）での協定書を作成していく仕組みを作る。 ・要保護児童対策地域協議会に近い形で関係者が同等の立場で協議していける形を作る
1907	地域での暮らしの場として、多様な暮らし方の社会資源が不足してるため、ニーズにあった暮らしの場が無い	・在宅や独居などの、地域での支援が増えてきているが、十分に知られていない。 ・グループホームの役割や求められるニーズが多様で、そもそもの役割やニーズが分かりにくい。	・地域での生活の支援について、どのような支援や生活の方法があるのか、具体的な地域での生活について、ガイドブックを作成していく。 ・グループホームの経過や役割の確認、求められているニーズの整理をしていく。
	○今後検討していく課題		
1908	強度行動障害の方や重度心身障害の方の生活介護、グループホーム、短期入所の受け入れ事業所の拡大		
1909	医療的ケアの方の利用できる事業所の拡大		
1910	介護保険との連携		